

EA159PJ(エアダイグラインダー)取扱説明書

製品を使用前に必ずお読み頂き、内容を十分に理解した上で、正しくご使用ください。 Ver1.0

警告	誤った取扱いをした場合、死亡や重傷を負う恐れがあります。
注意	誤った取扱いをした場合、軽傷や財産の損害を負う恐れがあります。
禁止	してはいけない内容です。
禁止	実行しなければならない内容です。

警告

必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> 使用時はゴーグル、マスク、手袋、耳栓等の保護具を着用する。 使用圧力を守り、使用する。
禁止	<ul style="list-style-type: none"> 高圧ガス(酸素、アセチレンガス等)を動力としない。爆発の危険があります。エアコンプレッサーによる圧縮空気を使用してください。 爆発の危険性がある環境下では使用しない。 使用中は回転部に触らない、又、巻き込まれるような物は近づけない。手が触れると怪我をする恐れがあります。又、だぶついた作業着やネクタイ、ネックレス、長い髪、布きれ等が巻き込まれる恐れがあり大変危険です。 無理な体勢で使用しない。 長時間の連続使用をしない。騒音による難聴の恐れ、振動などにより疾病や腱鞘炎になる恐れがあります。 電気に接触させない。エアーツールは絶縁されていません、感電の恐れがあります。 投げたり落したり衝撃を与えない。事故や故障の原因となります。
分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> 分解や改造はしないで下さい。製品の破損や使用中の事故につながるおそれがあります。

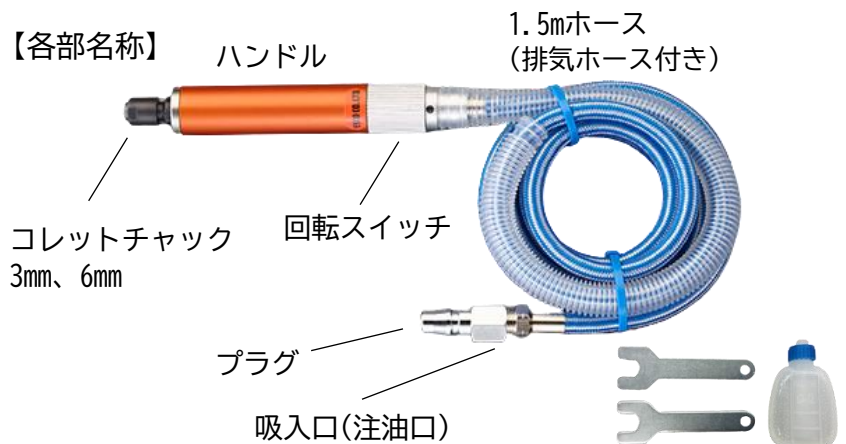
注意

必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> 作業前には、各部を点検し損傷、異常がないか確認をする。 軸付砥石の取付交換時、作業終了時、エアーツールの運搬時、異常を感じた場合はスイッチを切り、エアホースを外した状態にする。
禁止	<ul style="list-style-type: none"> 使用時は、照明をつけるなど明るい環境で行い、暗所では使用しない。 子供が触れる場所には置かない。

【仕様】

- コレットチャックサイズ…3mm、6mm
- 無負荷回転数…30,000rpm
- 使用圧力…0.63MPa
- 空気消費量…150L/min
- 吸込口ねじサイズ…G1/4"
- 使用コンプレッサー…2.2kW
- 騒音値…78dB(A)
- 三軸合成値…2.5m/s²(ISO22867)
- 重量…380g
- ハンドル長…150mm

【各部名称】



- 【付属品】 エアダイグラインダー、プラグ、オイルボトル
砥石交換用スパナ2本

【使用方法】

1. 吸入口にプラグを取り付けて下さい。
2. 3mm又は6mm軸付砥石(別売)を装着します。

⚠ 注意 本機の無負荷回転数に耐える軸付砥石を装着して下さい

①スパナで軸を固定し、もう一本のスパナで

反時計回りに回すとクランプナットが取り外せます。

②3mm軸の砥石の場合…6mmチャックの中に3mmチャックを入れ、
クランプナットをかぶせ軸付砥石を差込み、
クランプナットを締めこみ固定して下さい。

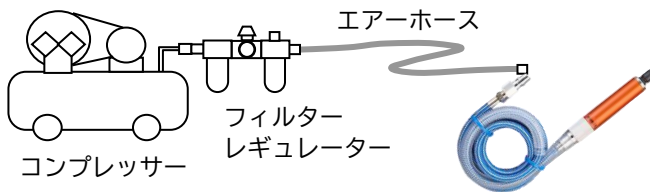
6mm軸の砥石の場合…3mmチャックを外して6mmチャックに
クランプナットをかぶせ、軸付砥石を差し込みます。
クランプナットを締めこみ固定して下さい。

3. エアーホースに接続し、回転スイッチを回すと可動します。(無段階調整)

⚠ 注意 エアーホースを接続の前に、回転スイッチがOFFの状態(反時計回りに締めこんだ状態)であるかを確認してから行って下さい。

4. 作業終了時は回転スイッチを切り(反時計回りに締めこむ)エアホースを外して下さい。

<接続例>



6mmチャック



3mmチャック



クランプナット



回転スイッチ

【保管・メンテナンス】

- ・乾燥した場所に保管してください。(湿気があるとサビが発生する場合があります。)
- ・ゴミや異物が侵入しないようにし、取扱説明書と一緒に保管してください。
- ・サビと摩耗を防ぐ為、ご使用前に注油口より注油して下さい。
(ISO VG10のエアーツールオイルを数滴たらず)
- ・使用状況に応じて、定期点検をして下さい。

<振動工具の三軸合成値について>

仕様欄に数値を記載しています。

日振動ばく露量A(8)は、厚生労働省の下記サイトで 求めることができます。

<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/090820-2a.pdf>